

1 概要

● 条件不利地森林整備

地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林を対象として、間伐などの森林整備を実施します。

● 水源林機能増進

市町村が管理する簡易水道等の上流部の森林であって、水源涵養機能等の低下が懸念される森林を対象として、間伐などの森林整備を実施し、水源涵養機能の増進を図ります。

● 松くい虫被害地の再生

松くい虫被害木が放置され、笹や竹が繁茂した森林を対象として、コナラやスギなどを植栽し、新たな森林へ再生を図ります。

2 事業の流れ

①区域調査委託

事業区域の検討や森林所有者の調査を実施し、判明した森林所有者に対して、事業説明や実施に関する承諾を得ます。



②実施計画調査委託

森林所有者から承諾を得た森林を対象に、事業の実施区域の測量や標準地調査を実施します。



③森林整備の実施

調査結果を基に間伐等の森林整備を実施します。



3 整備イメージ

現状

- ・手入れがされず、公益的機能が低下した森林
- ・林内は暗く、下層植生が乏しい



- ・間伐の実施により、林床に光りをあてて、下草などの下層植生を回復させる

間伐などの森林整備の実施



将来

- ・下層植生が回復し、公益的機能の高い森林へ移行



4 実施状況

【平成28年度の実績】

709, 717千円

(内訳) 平成27年度繰越事業404, 293千円 平成28年度事業305, 425千円(事務費6千円含む)
計709, 717千円 ※平成28年度繰越事業294, 820千円

○条件不利地

森林整備

・区域調査

H27繰越: 181ha
H28実績: 644ha
(H29へ繰越: 32ha)

・実施計画調査

H27繰越: 398ha
H28実績: 225ha
(H29へ繰越: 231ha)

・森林整備

H27繰越: 337ha
H28実績: 168ha
(H29へ繰越: 249ha)

- 平成28年度は、平成27年度の繰越事業と、平成28度事業を実施しました。

○水源林

機能増進

・区域調査

H27繰越: 390ha
H28実績: 416ha
(H29へ繰越: 31ha)

・実施計画調査

H27繰越: 345ha
H28実績: 94ha
(H29へ繰越: 199ha)

・森林整備

H27繰越: 184ha
H28実績: 87ha
(H29へ繰越: 135ha)

○松くい虫

被害地の再生

・区域調査

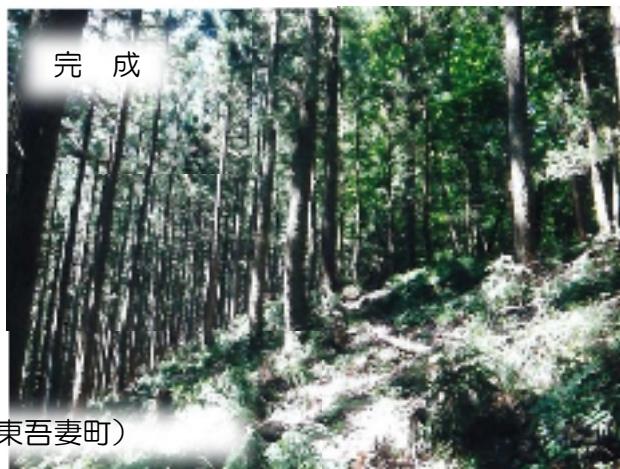
H27繰越: - ha
H28実績: 148ha
(H29へ繰越: 70ha)

・実施計画調査

H27繰越: - ha
H28実績: 42ha
(H29へ繰越: - ha)

・森林整備

H27繰越: 22ha
H28実績: 28ha
(H29へ繰越: 15ha)



水源林機能増進 (東吾妻町)